

平成20年度教育実践総合センター活動報告

岩手大学教育学部附属教育実践総合センター（平成20年度分；2009年1月31日現在）

所在地：住所 〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目3-18-33

電話 019-621-6640（事務室） F A X 019-621-6644（事務室）

構成員：（平成21年1月31日現在）

センター長	教授	鎌田文聰
専任教員	教授	加藤義男
専任教員	教授	大河原清
専任教員	教授	塚野弘明
専任教員	准教授	立花正男
	客員教授	八重樫勝
	客員教授	伊藤一彦
事務補佐員		林悦子

1 センター専任教員の学部・大学院教育への参与状況

(1) 学部教育

専任教員4名と客員教授2名が小学校教育コースの中に教育実践学サブコースを担当し、2年次から4年次の学生30名を教育している。

授業研究（前期30名）、認知心理学（後期25名）、教育実践研究Ⅰ（前期7名、後期6名）、基礎ゼミナール（前期8名）、教育実践研究Ⅱ（前期25名、後期25名）、生涯学習情報論（前期12名）、初期ゼミ（前期10名）、教職入門（270名）、生徒指導（前期140名・後期120名）、教育臨床研究（前期20名、後期20名）、教授行動論（前期7名）、教授行動論特殊講義（後期33名）、生活科教育法（前期140名）、教育とメディア特殊講義（後期80名）、ボランティア論（後期90名）、教育臨床心理学（後期60名）、卒業研究（前期9名、後期9名）

(2) 大学院教育

特別研究（前期2名、後期2名）、認知心理学特論（前期18名）、障害児臨床心理学特論（前期

6名）、障害児臨床心理学特別演習1（後期4名）、障害児臨床心理学特別演習（後期4名）、教育コミュニケーション工学特論（前期3名）

(3) 卒論・修論

卒論指導9名、修論指導3名

(4) その他

岩手県教職経験者10年研修（前期7名、後期30名）

2 教育実践部門（地域連携事業を含む）

教員研修

(1) 学校教育支援事業

・学力向上などをテーマとし、教育学部教員が学校現場に出向いて現職教員を対象とした研修を実施

(2) 教員のパソコン指導力向上研修事業

・教員のパソコン指導力の向上を目的とした初心者、中・上級者に対する研修会

(3) 教職経験10年者研修支援事業（全市町村）

・夏期、冬期34講座に233名が参加

- (4) 小規模・複式学級指導支援事業
 - ・複式公開研究会への支援、地域教育実習における指導・支援、へき地研究会への参加などを実施
- (5) 体力向上支援事業（岩手県）
 - ・小学生の体力向上を目的とした教員研修に学部教員を派遣

学生派遣（実地教育）

- (1) ボランティア・チューター（滝沢村、紫波町、矢巾町、雫石町）
 - ・県内4市町村の小学校、中学校、高等学校に年間を通じて、学習指導、特別支援教育などの支援を目的として学部生、大学院生を73名派遣している。
- (2) スクールトライアル事業（岩手県教育委員会）
 - ・県教委と県内4大学の共同事業。学習指導、部活、行事など幅広い領域で学校支援活動を通して実践経験を積ませる目的で教員志望の1年生から大学院生を小・中学校、盲・聾・養護学校に派遣している。
- (3) スクールトレイニー事業（岩手県教育委員会）
 - ・岩手県教員採用試験合格者を対象に県教委と県内4大学との共同事業。教員の業務に対する理解を深めることにより、教員としての実践力を身につけるとともに4月からの教員生活へ円滑に移行できるよう採用前の不安を軽減することを目的とする。
- (4) GSIP（教員研修留学生スクールメインテナンス・プログラム）（盛岡市）
 - ・教育学部留学生のインターシップ。英語の授業や国際理解教育への支援
- (5) 日本語教育支援事業（盛岡市）
 - ・盛岡市の外国人、帰国子女に対する日本語教育支援事業である。
- (6) 地域教育実習（4町村）
 - ・葛巻町、西和賀町、八幡平市の3地域に学生50名、教員11名が参加
 - ・小規模学校や複式学級での授業参観・研究会、子どもとの交流や地域についての学習などを

実施。

- (7) フレンドシップ事業（2市町村）
 - ・野外体験教育、小学生パソコン指導などを実施。

生涯学習支援

教育学部出前講座

- ・花巻市に教育学部教員が出向いて一般市民対象の5講座を実施。

外部資金導入状況

助成金名称	地域連携事業費
研究題目	初等中等教育支援事業
本年度金額(千円)	1,000
研究期間	平成19年度
研究代編	塚野弘明

3 教育臨床部門

3-1 センター主催・共催の研究会・研修会

- (1) 講演とシンポジウム「第9回子どもをめぐる今日的課題への支援フォーラム」
「特別支援教育における学習支援をめぐって」
平成20年2月9日（土）13時30分～16時
参加者 120名

3-2 各センターの対外的な教育・研究活動状況

A. 市町村との協同事業

- (1) 学校不適応支援事業・ADHD等支援事業

B. カウンセリング、コンサルテーション等活動状況

- (1) コンサルテーション

ケースコンサルテーションの実施

期間：平成20年2月～21年1月

対象：教員等

件数：14件（幼稚園、小学校、その他）

- (2) カウンセリング（平成20年2月～21年1月）

① 個別相談の実施

対象：保護者、子ども

来談者数：58名（新規34名、継続24名）

相談回数：81回

② スクールカウンセリングの実施

附属中学校 6回

3-3 グループ相談（平成20年2月～21年1月）

イ)「みんなでチャレンジ」（不登校児へのグループ支援）

対象：不登校、かん黙の小中学生

年間9回（月一回）実施

参加者総数 44名

ロ) エブリ教室（高機能広汎性発達障害児のグループ支援）

対象：高機能広汎性発達障害児（小学生）

年間11回（月一回）実施

参加者総数 49名

ハ) エブリクラブ

対象：上記エブリ教室に参加した児童で中学生以上の児・者

年間3回実施

参加者総数 29名

ニ) 白馬塾（発達障害青年の居場所支援）

対象：発達障害及びその周辺の青年

年間12回（月一回）実施

参加者総数 64名

4 平成20年度教員研修会・講演会・シンポジウム等

平成20年度第1回教員研修会

平成20年6月28日（土）13：00～15：10

場所 岩手大学学生センターG1大講義室

講話 岩手の教員に期待すること～岩手の義務教育の方向性～ 小岩和彦氏（岩手県教育委員会学校教育室義務教育担当課長）

質疑・意見交換 司会：立花正男氏（岩手大学教育学部准教授）

参加者数 約40名

講演とシンポジウム

平成20年10月4日（土）13：00～16：00

場所 岩手大学農学部総合教育研究棟（旧5号館）2階 ぼらんホール

岩手の教員に望まれる資質（その4）

講演 岩手大学における教員養成・教員研修に望むこと 佐々木初朗氏（元盛岡市教育長・前文部科学省視学委員）

シンポジウム 教員の資質能力を高めるために～教員養成・教員研修に期待すること～

基調報告 加藤義男氏（岩手大学教育学部長）

パネラー 斎藤真理子氏（県教委学校教育室主任指導主事）・安保位子氏（盛岡市立東松園小学校校長）・安藤瑠夏氏（普代村立普代小学校教諭）・石田秀考氏（矢巾町立矢巾中学校教諭）

コーディネーター 立花正男（岩手大学教育学部准教授）

参加者数 約50名

算数・数学教育講演会及び座談会

日時 平成20年12月6日（土）13：30～16：30

場所 岩手大学農学部総合教育研究棟（旧5号館）1階7番講義室

1 講演会 算数・数学教育における思考力を高める授業の在り方 清水美憲氏（筑波大学大学院人間総合化学研究科准教授）

2 座談会 算数・数学の学力を伸ばすにはどうすればいいかを考える

パネリスト 高橋長兵氏（岩手大学教育学部附属小学校教諭）・佐々木寿洋氏（盛岡市立仁王小学校教諭）・村松雅彦氏（岩手大学教育学部附属中学校教諭）・佃拓生氏（盛岡市立上田中学校教諭） 司会 立花正男（岩手大学教育学部准教授）

参加者数 約90名

平成20年度第2回教員研修会

小学校の外国語活動の進め方について

平成21年2月14日（土）13：00～16：20

場所 学生センターG1大講義室

1 講義 小学校外国語活動必修化にあたって～

中学校英語教育へのつながりを見据えて～小野
寺哲男氏（岩手県教育委員会学校教育室指導主
事）

2 実践発表 Let's try! 楽しく教える小学校外
国語活動

小林恵理氏（雫石町立御明神小学校教諭）・佐
藤均・日向速人氏（紫波町立日詰小学校教諭）

助言者 照井正孝氏（盛岡教育事務所指導主事）・

岩泉康喜氏（紫波町立紫波第二中学校校長）・

山崎友子氏（岩手大学教育学部教授）

参加者数 約90名